

第1回 地域連携推進会議

2026年9月25日（金）10：30～

◎ 本日の流れ：開催説明 → 参加者紹介 → 見学 → 運営状況説明 →
質問・要望・助言等 → 解散

【目的】 障害福祉サービス等の基準省令の改正により、令和7年度より
地域連携推進会議の開催が義務付けられました。

地域住民又は自発的な活動等との連携及び協力を行う等の地域と
の交流を図ることを目的としています。

- ① .利用者と地域との関係作り
- ② .地域の人への施設や利用者に関する理解の促進
- ③ 施設やサービスの透明性・質の確保.
- ④ 利用者の権利擁護

【内容】

- ・ 地域連携推進会議は、概ね年1回以上開催
- ・ 地域連携推進会議の構成員は、利用者及びその家族
地域住民の代表、共同生活援助についての知見を有する者
市町の担当者とする
- ・ 事業の運営に係る状況を報告するとともに、必要な要望、助言等
を聴く機会を設ける
- ・ 地域連携推進会議の開催の他、概ね年1回以上、地域連携推進
会議の構成員が見学する機会を設ける

本日の参加者：地域住民代表 宮地 自治会副会長
市町担当者 田邊 様（ほくしん障害者相談支援センター）
共同生活援助運営法人 前垣 様（グループホームからと）
利用者 箱木 様 家族代表 西津 様
当該事業所 管理者 二星 ・サービス管理責任者 永松

質問・要望・助言等意見交換

別紙

地域住民代表 宮地様

初めて見学させて頂き、どういった人たちが暮らしているのか興味があった。

上唐櫃は昔ながらの地域性で排他的な所もあるが、知ってもらうために、これから地域の行事に参加するなど交流を深めるよう努力して頂きたいし、自治会としても、地域に溶け込んでもらうために、広報誌にコラージュ特集を組んで、情報発信をしていきたい。今回、見学させて頂き、利用者さんや家族さんの話を聴けたことで、重度の障害の方にとって、安心して暮らすためのグループホームのようで、納得出来た。これから上唐櫃の家族として、共に暮らしていきたい。

家族様代表 西津様

私の息子は、肢体不自由と知的障害の重度の重複障害者です。動線や介助しやすいように配慮して頂いている。

利用者代表 箱木様

自宅と同じように過ごさせてもらっている。たまには、自宅に帰って、ひとりゆっくり過ごしたいと思うことがある。

【防災について】

宮地様から、地域の実状をうかがい、今後、非常災害時、自助・共助というところで、市町担当者の田邊様から、地域の人に知ってもらうことで、お互い助け合える関係を築くことの大切さをお話頂きました。

また、2方向の避難経路の確認で、裏の掃き出し窓に段差があるため、利用者様が避難しにくい課題が見つかり、改善策を検討することになりました。

【感想】

初めての地域連携推進会議の開催でしたが、地域の方から好意的なお話を頂き、今後、さらに連携を強化できるように努めたいと思いました。

